

科目名 ナンバリングコード	地域・在宅看護概論 NUS1181MN1	必修科目	1 年次 2 学期	講義	1 単位
科目責任者	医学部看護学科 講師 渡邊 理恵				
科目担当者	医学部看護学科 山下 寛子、森永 朗子				
教育目標 到達目標	<p>教育目標</p> <p>1. 地域で生活する人々とその家族を理解し、様々な場における在宅看護の役割について理解する。</p> <p>2. 地域で生活するあらゆる健康段階の人々を支援する在宅看護の目的や課題について理解する。</p> <p>到達目標</p> <p>1) 現代の社会的背景と関連付けて、在宅看護の必要性と目的について説明できる。</p> <p>2) 地域における在宅看護の役割と機能、在宅看護活動の特徴について説明できる。</p> <p>3) 在宅看護を展開するための基本理念及び在宅看護特有の倫理問題について述べることができる。</p>				
授業計画					
授業回数	授業の内容	担当者等	準備学習 (予習・復習等)	必要時間	
第 1 回	看護が対象とする地域と生活 地域・在宅看護における「生活」「暮らし」とは 地域の特性に応じた生活と健康の関連性	渡邊【講義】	事前にシラバスを確認 毎回配布資料とテキスト により復習と予習をして 臨む。	毎回復習 予習に 30 分	
第 2 回	地域・在宅看護が目指す役割と機能 社会的背景と国民の価値の変容 地域包括ケアのさらなる推進	渡邊・森永【講義】			
第 3 回	地域・在宅看護の基盤 在宅看護の特徴・対象者・看護とサービス提供機関	山下【講義】			
第 4 回	「病院看護」と「地域・在宅看護」のそれぞれ が目指す看護の役割	渡邊【講義】			
第 5 回	療養者を介護する家族にとっての在宅看護の意義	渡邊【講義】			
第 6 回	在宅看護を展開するための基本理念 セルケア理論・保健行動理論・アドボカシー	山下【講義】			
第 7 回	地域療養を支える在宅看護の役割・機能 自立・自立支援 病態の予測と予防	渡邊【講義】			
第 8 回	在宅看護特有の倫理問題	渡邊【講義】			
テキスト	・臺 有桂 他 編 ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論①② (2022 年版)				
参考書	・日本在宅ケア学会 在宅ケア学第1巻～第6巻 株式会社ワールドプランニング 2015 年				
成績評価					
方法 (割合)	基準				
定期試験 (80%)	到達目標の達成度を正答率で評価する。				
受講態度 (20%)	授業へ積極的に参加する姿勢・毎回の講義内容について具体的な感想や質問等をポイント化し評価する。				
課題 (レポート等)	に対するフィードバック	講義の中でコメントする。			

科目名 ナンバリングコード	公衆衛生看護学概論 PHN1111MN1	必修科目	1年次 2学期	講義	2単位
科目責任者	医学部看護学科 教授 重松 由佳子				
科目担当者	医学部看護学科 佐藤 祐佳 非常勤講師 矢島 由紀 (ゆきデンタルクリニック院長) 非常勤講師 土井 巧 (朝倉市役所 保健師)				
教育目標 到達目標	<p>教育目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 地域を対象とする地域看護の対象の特性を学ぶ。 2) 地域で看護活動をおこなうために必要な基本的な知識・技術を学ぶ。 3) 地域の人々と協働して健康増進能力を高める活動の展開について学ぶ。 4) 地域の様々な場における看護職の役割機能について学ぶ。 <p>到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 公衆衛生看護の理念、対象、場の特性と変遷について説明できる。 2) 公衆衛生看護活動の展開方法について説明できる。 3) 公衆衛生看護活動に関する法令・関係職種について説明できる。 4) 産業保健活動、学校保健活動の対象・活動の特性について説明できる。 5) 地域保健活動における看護職の役割・機能について説明できる。 				
授業計画					
授業回数	授業の内容	担当者等	準備学習 (予習・復習等)	必要時間	
第1回	公衆衛生の定義、健康の定義	重松【講義】	健康について	各講義前にテキストを読むこと(20-30分)、疑問点を明らかにして臨む。終了後は、15-20分用語の復習をして知識を確実にしておく。	
第2回	公衆衛生学・公衆衛生活動	重松【講義】	公衆衛生		
第3回	公衆衛生の歴史・諸外国の保健活動	重松【講義】	日本の歴史と公衆衛生		
第4回	公衆衛生看護の理念、目的	重松【講義】	公衆衛生と看護		
第5回	公衆衛生看護の歴史	重松【講義】	日本の歴史と看護		
第6回	公衆衛生看護活動(対象と場の特性)	重松【講義】	対象と場の特性		
第7回	公衆衛生行政の仕組み(保健所と市町村)	重松【講義】	保健所、市町村		
第8回	公衆衛生看護活動を支える理念・理論	重松【講義】	ヘルスプロモーション ポピュレーションアプローチ		
第9回	公衆衛生活動と関連法制度・関連職種	重松【講義】	法制度		
第10回	保健活動の展開方法①(家庭訪問)	土井【講義】	家庭訪問		
第11回	口腔歯科保健の意義	矢島【講義】	口腔歯科保健		
第12回	保健活動の展開方法②(地域組織活動)	重松【講義】	地域組織活動		
第13回	学校保健活動(学校保健の目的・機能)	重松【講義】	学校保健の役割と動向		
第14回	産業保健活動(産業保健・産業看護の定義)	佐藤【講義】	産業看護活動		
第15回	保健活動の展開方法③(システム化・施策化)	重松【講義】	システム化施策化		
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 公衆衛生 健康支援と社会保障制度② 医学書院 標準保健師講座① 公衆衛生看護学概論 医学書院				
参考書	なし				
成績評価					
方法(割合)	基準				
筆記試験(70%)	保健活動に必要な基礎知識を問う。				
レポート・受講態度(30%)	対象の促え方、対象の特性に応じた保健活動、保健活動の特徴を健康との関連で論述しているのかを評価する。				
課題(レポート等)	に対するフィードバック		課題(レポート等)は評価コメントを講義時間内に返却する。		